

地域支援だより

平成26年2月14日

第40号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

タブレット型端末の活用状況について

本年度から「特別支援学校ICT活用教育推進事業」として、かがやきの丘3校にタブレット端末 (iPad) が導入されました。児童生徒の様々なニーズにタブレット端末が対応できるように、アプリケーションの選択や入力方法の検討などタブレット端末の長所を生かしながら検討を行ってきました。

今号のきらりNetでは、導入されたタブレット端末の活用状況についてお伝えします。

高等部2年生「職業」での実践



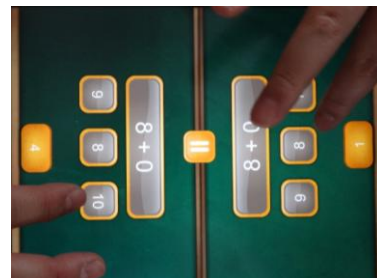
音楽制作ソフト (Garage Band) を使用して楽曲制作に取り組んでいます。タブレット端末の画面のみを指先で操作するので、上肢の可動範囲内で制作することができました。ドラムフレーズのパターンを自作し、繰り返したり変形させたりして曲の制作をしています。



中学部2年生「数学」での実践



「時計金庫」というアプリで、出題された時刻に時計の針を合わせる学習や、「Math Fight」というアプリで、暗算の速さと正確さを2人で競い合う学習をしています。操作がしやすく、正解・不正解がすぐに画面に反映されるため、興味をもって取り組んでいます。



高等部2年生「自立活動」での実践



ホームページの形式 (HTML) で作成した自作ソフトを使用して、自発的な意思表示を行う学習に取り組んでいます。数秒ごとに切り替わる画面を見ながら伝えたい要求を選び、棒状スイッチを操作してクリックすると、音声で意思表示を行うことができます。音楽を聴きたいとき、来てほしい先生を呼んでお願いすることができるようになりました。また、簡単な質問に対して「はい」「いいえ」で気持ちを伝えることができるようになってきています。



本校では、ソフトバンクモバイル株式会社と東京大学先端技術科学研究センターの共同研究である『魔法のランププロジェクト』に参加して、iPadを活用した実践研究を進めています (今年度で2年目です)。

先日、東京大学にて全国の実践研究校が集まり『魔法のランププロジェクト』の成果報告会が行われました。報告された実践事例は「魔法のランプ 実践事例 (<http://maho-prj.org/?p=558>)」サイトに掲載されています。また、年度末には研究協力校の成果報告書が掲載される予定ですので、ぜひご覧ください。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

訪問生の家庭・施設と学校をつなぐ取組

本校の今年度の訪問教育の児童生徒数は11名です。自宅で学習している児童生徒が7名、医療療育センターに入所して、病室で学習している児童生徒が4名です。訪問で学習している児童生徒の多くは、学校で学習している同年代の友達との交流を望んでいますが、様々な理由でスクーリングが困難なのが実情です。そこで、タブレット端末のインターネットテレビ電話サービスを活用した交流活動を行っています。児童生徒の訪問指導の時間帯に応じて、

- 1 同学年の朝の会を中継し、一緒に行う。
- 2 図工や音楽など教科の学習に同じ題材で参加する。
- 3 学部や学年の集会に参加する。



などの内容で行っています。朝の会の中継では、同学年の友達から直接名前を呼んでもらったり、図工、音楽の中継では、友達と同じ題材で制作をしたり、同じ曲で合奏をしたりしています。これらの活動を通して、訪問児童生徒の学習の様子を学部の友達や教師に知ってもらうことができると同時に、学部や同学年の友達とより深い仲間意識をもつことができ、とても充実した取組となっています。

インクルーシブ教育システムにおける病気の子どもの教育

病弱教育コーディネーター 藤井 慶博

県教委では、昨年7月、全県の公立小・中学校を対象に「慢性疾患及び精神疾患の児童生徒の実態調査」を実施しました。その結果、病気の治療をしながら学校生活を送っている児童生徒の多くが、通常の学級に在籍していることが分かりました。「インクルーシブ教育」という考え方が我が国にも広まりつつあります。中教審では「障害のある子どもと障害のない子どもができるだけ同じ場で共に学ぶこと」を大切にしつつ「それぞれの子供が、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうか」という本質的な視点を大切にすべきと報告しています。この方向性を踏まえ、学校や学校の設置者が行うべきこと、保護者や関係機関との連携の在り方、そして特別支援学校が果たす役割を十分に検討すべき時期であると考えています。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>



次号は3月7日発行予定です。